



今月のお知らせ



健康サロン

日時：2月 3日（火）、17日（火）
13時00分～
場所：さわやか人権文化センター
内容：健康マージャン
～賭けない・飲まない・吸わないをモットーに
仲間づくり・健康づくりを実現しましょう～
初心者歓迎します

お知らせ

個人の時間に合わせて楽しむことができるよう
に下記を準備しています。

- 囲碁、将棋各1セット
仲間同士の対局、棋譜の検討などに
- シアターセット（DVDのみ対応）
普段とは違うサウンドで楽しんでみませんか？
(DVDはご持参お願いします)

みんなの楽級

2月の みんなの楽級 はお休みします。



感染症や大雪等の状況によ
っては、事業を中止・変更する場合があります。
ご了承ください。

倉吉市の就職支度金制度のご案内（概要）

新たに学校を卒業・修了する人のうち、身体に障がいのある人などを対象に、就職支度金を支給します。

対象者：下表①～③のすべてを満たす人

①次のいずれかに当てはまる人 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のうち、いずれかを所有する人 ・統合失調症などの精神疾患の診断を受けている人 ・同和地区に居住する人、または居住していた人	②新規に県内の中学校、高等学校、特別支援学校を卒業する人、または各種学校、専修学校を修了し、卒業・修了月の翌月末までに初めて就職が決定（内定）した人で次の全てに当てはまる人 ・公共職業安定所または卒業した学校の紹介がある ・常用雇用者（1年以上の契約社員を含む）	③保護者が倉吉市内に住所を有する人
--	---	-------------------

支給金額：25,000円

申請期限：2026（令和8）年2月27日（金）

お問い合わせ先：倉吉市 人権政策課 電話 22-8130

困りごとはありませんか？ 人権が侵害されていませんか？

悩みごと・生活に困っていることがありますたら、どんなことでも、1人で抱えこまずにご相談ください。

倉吉市 人権政策課
さわやか人権文化センター

差別落書きや差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課もしくは人権文化センターにご相談ください。

電話 22-8130
電話／FAX 28-2017

さわやか人権文化センターだより

センターだより「さわやか」に関するご意見・ご要望をおよせください。

2026年2月1日発行 №376
〔発行所〕さわやか人権文化センター
〔所在地〕〒682-0602
倉吉市上米積 1074-1
〔電話兼ファックス〕0858-28-2017
〔メールアドレス〕sawayaka@ncn-k.net

倉吉市部落解放文化祭

人間解放の文化を創造しよう

お互いを認め合い、安心して暮らせる人権尊重のまちづくりをめざす「第49回倉吉市部落解放文化祭」が2月6日（金）～8日（日）に開催されます。

はり絵・書道・陶芸などの作品展示や人権作文の朗読、伝統を誇る人形芝居のステージ発表など、多彩な内容で差別解消を訴えます。

作品展示

2月6日（金）～8日（日） 9時～16時

エースパック未来中心 アトリウム

認定こども園、保育園、小学校、中学校、児童館・児童センター、社会福祉施設、
国立療養所 邑久光明園、人権文化センターなどの作品展示

ボテ茶サービス

部落解放同盟倉吉市協議会

2月8日（日） 11時～なくなり次第終了

エースパック未来中心 小ホール入口付近

昔の生活は今の生活に比べ大変でしたが、皆が協力し、支えあって心豊かに生きてきました。
冬の間は外で仕事をすることができず、わらじやむしろ、かます、ぞうり等のわら製品づくりに
励みました。昼の休憩には、いつもボテ茶がありました。

発表

2月8日（日） 13時～15時

エースパック未来中心 小ホール

□円通寺人形芝居（円通寺人形芝居保存会）

江戸時代に由来する歴史ある人形芝居。

3人の人形遣いによる人形の生き生きとした動きが特徴です。

□人権作文朗読 「笑いの中で傷つく心」

福田るみ花さん（河北中学校）



入場無料・申込不要

お問い合わせ先：倉吉市人権政策課 電話 22-8130

学習会 1年間がんばったよ！

高城地区学習会閉会式

2025年度の小学生の地区学習会閉会式を、12月1日に行いました。

閉会式では、学習会に参加した児童一人ひとりが今年度の振り返りを、緊張しながらも力いっぱい、保護者や久米小学校など関係者の前で発表しました。振り返り発表の後は、児童と保護者がいっしょになって、1年間の学習会の様子や今後に期待することなどの意見交換をしました。

児童の発表（一部）

「人は一人ひとり違っていて、それを否定しないことが大切と知った」
「友だちや家族のいいところを見つけると、人にやさしくなる」
「これからも学んだことを生かしていきたい」
「下の学年の子といっしょに教えあったり、仲良く勉強したい」
「差別は人を傷つける。絶対にしてはいけない」
「差別に負けたくない。正しい知識を学びたい」
「どうして差別されなければいけないのかをもっと知りたい」



振り返り発表後、グループごとに意見交換

久米中学校地区学習会閉講式

2025年度の久米中学校地区学習会閉講式を12月17日に行いました。

生徒たちは1年間の学習会参加や小学校から続けてきた学習会を振り返り、年度当初に掲げた目標の達成状況、来年度や将来に向けた希望など、それぞれの思いを込めての意見発表をしました。

学習会にかかわった先生や関係者からは、生徒一人ひとりの成長をずっと見守ってきたことや人権の学びを応援するたくさんメッセージをいただきました。



学習会参加生徒の発表（一部）

○人権学習であきらめない強い心の大切さを学び、まずは挑戦してみようと思えるようになった。
○差別問題は身近にある。何気ない言動でも差別につながることがあるとわかった。
○人権は日常でも意識し守らなければならないもの。学習を重ねるなかで、自分の言葉や行動が誰かの人権に影響を与える重さに気付いた。
○私たちは一人ひとりの考え方や意見を尊重しあって暮らしている。それは相手を思いやる気持ちがあるからできることで、私たちはその大切さを一番知っている。

これからも地域全体で、子どもたちの健やかな成長を見守り、育てることに、ご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。

知ってください 子ども用車いすのこと



見た目はベビーカー、
実は「車いす」です。
病気や障がいが理由で、
「これがないと移動できない」
子どもたちが使用しています。



「子ども用車いす」は、外見がベビーカーに似ています。そのため、公共交通機関や公共施設でベビーカーと誤認され、必要な介助が受けられないなど、認知度の低さに伴うトラブルが発生しており、周囲の理解と配慮が求められます。なお、ベビーカーを車いすと同じ目的で使用している場合もあります。

1. 子ども用車いすの特徴と役割

子ども用車いすには、大きく分けて自走・介助用の「標準型」と、姿勢を維持する機能に特化した「バギー型」があります。バギー型は、難病や障がいで体幹が弱いために首が座らない子や、姿勢が固定できない子のための車いすです。子どもの障がいに合わせて体幹を支えるクッションや、背もたれの角度の調整、座面の下に人工呼吸器など医療機器を積めるような造りになっているなど、「オーダーメイドの医療機器」としての側面もあります。

折りたためません

これは車いすです。座る姿勢を保つことが難しいなどの身体的特徴から、車体を折りたたむことは容易ではありません。また、子どもたちは「子ども用車いす」から降りて歩くことも困難です。

重量があります

車いす自体の重量に加え、医療機器を搭載している場合もあります。そのため、車体を持ち上げて大きな段差を超えることは非常に困難です。

子ども用車いすマークもあります

「こども車いす」や「子ども用車いす」などと表示したマークをつけている方もいます。



※マークは一例です。

※子ども用車いすを見かけたら、温かい配慮をお願いします。

2. 子ども用車いすへの誤解から生まれる問題

- ①介助者や利用者が、公共交通機関でスロープの利用を申し出ると、「ベビーカーには使えません」「たたむように」と言われたり、障がい者用駐車スペースの利用を断られたりするなどのトラブルが発生しています。
- ②公共の場で、「混んでいるんだからたたんでもらえますか?」と言われたり、「大きくなつてもベビーカーに乗せて甘やかしている」という無理解な視線に晒されています。こうした誤解は、外出そのものを苦痛にし、家族を孤立させる原因となります。



車いすが必要な子どもと、その家族のためにできること

子ども用車いすを利用する子どもたちにとって、外出は単なる移動ではなく、社会とつながり、経験を積むための大変な学びの場です。私たちが「ベビーカーに見える車いす」の存在を知り、正しく理解することは、誰もが排除されない社会を作るための第一歩となります。

（一部国土交通省ホームページ参照）